



神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター

栄養ケア・マネジメント課程

～土曜日開講 11ヶ月(2年履修も可)～

臨床栄養活動や在宅療養者への栄養ケア活動において求められる栄養の知識・技術およびマネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントにおいてリーダーシップを発揮できるエキスパートを育成する課程です。

一流の講師陣の講義に加え、グループワーク、直接患者に接する体験や、最新の機器を用いた実習など、実践的なカリキュラムを提供しています。



平成30年度から、働きながらも学びやすい、少しゆとりのある日程に変更しました。



栄養指導がうまく
継続できない、自信がない。

栄養ケア・マネジメント、これでのかな。

居宅サービスをやってみたい…。

1人職種で壁を越えられない。

自信がない。知識が古いかな…。

戦略的に仕事をすすめたい。

仕事のまとめ方・見える化、アピールを学びたい。

ブランクからの仕事復帰で学びなおしたい。

今年は**診療報酬と介護報酬の同時改定**、できることが広がっています。

退院時共同指導で評価される職種に管理栄養士も追加
緩和ケア診療加算の要件見直し、個別栄養食事管理加算の新設
低栄養リスク改善加算も新設、栄養マネジメント加算要件が緩和
管理栄養士同士の連携を評価して再入所時栄養連携加算も新設 などなど
管理栄養士が貢献できることがまだまだたくさんあります

管理栄養士として貢献できることが、こんなにあります。

栄養ケア・マネジメント課程は、誰と協働するか、具体的にどうするかなど、課題を解決する実践力を身につけ、管理栄養士としての能力をフルに発揮できる人材を育成するコースです。



詳細は、ホームページ <http://jissen.kuhs.ac.jp/>に掲載する募集要項で確認してください。

【問合せ】 栄養ケア・マネジメント課程担当

電話 045-366-5871 (直通)

【募集要領】

- [修業期間] 平成31年4月から平成32年2月（修業期間を延長し2年間での履修も可能）
原則土曜日9:00~16:30 一部平日
- [会場] 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
横浜市旭区中尾1-5-1（相鉄線 二俣川駅下車）
- [出願資格] 管理栄養士として、現在、保健・医療・福祉等の実務にある者または個人で活動している者
- [募集人員] 25名
- [出願期間] 【第1回】平成30年10月9日（火）~10月26日（金）（消印有効）
【第2回】平成31年1月11日（金）~1月25日（金）※第2回は欠員のある場合に実施
- [合格発表] 【第1回】平成30年11月22日（木）
【第2回】平成31年2月20日（水）
詳細はホームページ <http://jissen.kuhs.ac.jp/> で確認を。
- [諸費用] 入学検定料 8,600円
(税込) 入学金 68,800円（県内在住者）137,600円（県外在住者）
授業料 38,800円（必修科目180時間・選択科目15時間の場合）
- [内容] ヒューマンサービス論、栄養ケア・マネジメント論、臨床栄養実践活動論、
栄養教育と地域活動 クリニカルニュートリション ほか
- [講師] 本学教員：中村丁次（学長）、杉山みち子（教授）、鈴木志保子（教授）、外山健二（教授）ほか
外部講師：足立香代子（臨床栄養実践協会理事長）、川島由起子（長野県立大学教授）、
田中弥生（関東学院大学大学教授）
谷口英喜（済生会横浜市東部病院周術期支援センター長）ほか多数(変更の可能性あり)

(参考)

平成30年度の金額



卒業生の声(抜粋)



有名な講師陣の講義はもちろん、授業の中でグループワークや発表、実習を行うことで、インプットからアウトプットまでを学べます。この経験こそが、職場での迷いのない「実践」とアウトカムに繋がると実感しました。
(平成29年度卒業 病院勤務)



志高い一生の仲間と管理栄養士という職に対する誇り、この二つがこの課程に通って得た一番の成果です。カリキュラムは、座学だけでなく、実習、発表などを交えているので、自然と栄養に関する知識・技術及びマネジメント能力が養われるようになっていきます。目標を持って学ぶことは楽しい！そう気付かせてくれる学校と仲間です。
(平成28年度卒業 有床診療所勤務)



厨房からなかなか出られずミールラウンドができない。
それがこの9ヶ月を経てできるようになり私にとって大きな成果でした。課程に通わなければ今でも変わらず悶々とした日々を過ごしていたと思います。
(平成27年度卒業 特別養護老人ホーム勤務)



課程の大きな特色は、課程を通して各々が現在職場で抱える課題と向き合い、またそれを上司、他職種を巻き込んでいかに取り組んでいくかを先生や受講した仲間と共に考え、表現し実践していくこと、つまりマネジメントしていくことだと思います。そして何より、ひとり職場で悩んでいた自分にとって同じ管理栄養士という立場で気兼ねなく相談できる多くの仲間と出会えたことが一番の財産です。この課程は座学や実習とともに、現実の課題に取り組むための知識・技術を学び、それを使いこなす訓練をする場であり、このスキルは自分の武器になりました。
(平成26年度卒業 特別養護老人ホーム勤務)

